

- 問1 1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。（2026年 山口県公立入試 類似）
1. 秦 2. 隋 3. 魏 4. 漢
- 問2 佐賀県に位置する吉野ヶ里遺跡は、集落の周囲に深い濠（ほり）や土塁を巡らせた「環濠集落」の代表例として知られています。このような大規模な防衛施設を持つ集落が弥生時代に造られるようになった社会的な背景として、最も適切な説明はどれか、選びなさい。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 狩猟や採集の効率を上げるために、獲物となる動物を追い込む囲いが必要だったため 2. 頻発する大規模な洪水や高潮から、住居や高床倉庫の浸水を防ぐ必要があったため 3. 仏教の伝来にとともに、寺院を中心とした聖域を保護する必要が生じたため 4. 本格的な稲作が始まり、土地や水をめぐる集落間の争いが激しくなったため
- 問3 弥生時代に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏に使いを送った政治的な理由として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものを選択してください。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 律令国家の仕組みを学ぶために、魏の進んだ法制度や官僚機構を日本に導入して中央集権化を図るため。 2. 「倭国大乱」と呼ばれる国内の激しい争いを鎮め、魏の皇帝から称号を得ることで国内における統治の正当性を示すため。 3. 鉄製農具の使用を全国に普及させるため、魏から大量の鉄資源を安価に輸入する独占的な貿易ルートを確認するため。 4. 日本列島に迫っていた魏の軍事的侵攻を回避するため、多額の貢ぎ物を持参して講和を結ぶため。
- 問4 大陸から稲作の技術が伝わったことで、人々の生活や集落の様子は大きく変化しました。この時期の集落において、収穫した食料を管理・保存するために設けられた特徴的な施設として適切な名称を選びなさい。（2021年 岡山県公立入試 類似）
1. 環濠集落 2. 高床倉庫 3. 竪穴住居 4. 前方後円墳
- 問5 弥生時代の遺跡からは、中央に2つの穴が開いた半月形の石器が数多く出土します。この道具を用いた当時の収穫方法と、その特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 穴に紐を通して指にかけ、熟した稲の穂先のみを摘み取る「穂首刈り」を行っていた。 2. 石器の鋭い側面を使い、脱穀のために稲の茎から籾をこすり落としていた。 3. 穴に長い木の柄を取り付け、稲を根元から一気に刈り取る「根刈り」を行っていた。 4. 複数の石器を組み合わせ土を掘り起こし、田植えの前の耕作に使用していた。
- 問6 1世紀半ば、倭の奴国の王が、危険を冒してまで当時の中国の王朝であった漢（後漢）に使節を送り、皇帝から金印を授かった政治的な背景・目的として最も適切なものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）
1. 中国の皇帝から王としての地位を認められ、その権威を背景に周囲の小国に対して優位に立つため 2. 中国で当時流行していた仏教を正式に日本へ導入し、宗教的な力によって国内の混乱を鎮めるため 3. 中国で起きていた大規模な農民反乱を鎮圧するために、倭の軍勢力を提供して同盟関係を築くため 4. 中国で発明されたばかりの青銅器や鉄器の製造技術を独占し、列島全体を武力で統一するため
- 問7 弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器のうち、銅とスズの合金で作られ、主に豊作を祈るなどの祭祀（祭り）の儀式に用いられた道具の総称を何というか。（2022年 島根県公立入試 類似）
1. 土器 2. 打製石器 3. 青銅器 4. 鉄器
- 問8 弥生時代に本格的に始まった稲作において、実った稲の穂先のみを摘み取って収穫するために使われた磨製石器を何というか。（2016年 奈良県公立入試 類似）
1. 石匙 2. 石包丁 3. 打製石斧 4. 石鏃
- 問9 弥生時代の代表的な遺跡である佐賀県の吉野ヶ里遺跡について、その集落の構造を説明した記述として最も適切なものを次から選びなさい。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
1. 交易を円滑にするため、海岸線に沿って長い石垣が築かれ、港の機能を中心としている。 2. 大規模な公共事業を行うため、周囲の山を削って平地を作り、規則正しく住居が並んでいる。 3. 外敵の侵入や攻撃を防ぐため、集落の周囲に深い溝（濠）を掘り、さらに柵を巡らせている。 4. 収穫した稲をネズミや湿気から守るため、床を高くした高床倉庫が集落の中心に配置されている。
- 問10 邪馬台国の女王卑弥呼が、当時の中国の王朝である魏に使いを送った背景やその後の状況を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 倭の奴国の王として、後漢の皇帝から金印を授かり、九州地方の交易の利権を独占しようとした。 2. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号や金印を授かることで、国内の小国に対する自らの権威を高めようとした。 3. 大陸の優れた仏教文化を直接取り入れるために、公式な使節として小野妹子を魏の都へ派遣した。 4. 秦の始皇帝に対して不老不死の薬を献上することで、国内の争いを鎮めるための軍事支援を求めた。
- 問11 福岡県などで出土した、表面が滑らかで機能的な形をした壺型の土器について、その形状や性質が変化した背景として最も適切なものはどれか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. 青銅器や鉄器が普及したことで土器が使われなくなり、儀式用の飾りとしてのみ作られるようになったから。 2. 狩猟や採集を中心とした移動生活に耐えられるよう、衝撃を吸収するためにあえて厚手に作る技術が途絶えたから。 3. 大陸から伝わった仏教の影響により、華美な装飾を避けて質素な道具を作ることが社会の決まりとなったから。 4. 稲作が普及したことで、収穫した食料の貯蔵や煮炊きといった生活道具としての使いやすさが重視されるようになったから。
- 問12 弥生時代に稲作が普及すると、土地や水の利用をめぐる集団間の争いが起こるようになりました。こうした外敵の攻撃から集落を守るために、周囲に深い堀や柵を巡らせた当時の集落の形態を何といいますか。（2021年 愛知県公立入試 類似）
1. 環濠集落 2. 高床倉庫 3. 高地性集落 4. 竪穴住居
- 問13 弥生時代に中国や朝鮮半島から伝わった鉄の利用について、当時の社会に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 奈良県公立入試 類似）
1. 須恵器と呼ばれる硬い土器を焼くために、窯の温度を上げる燃料として利用された。 2. 木製農具の刃先に装着することで土地を耕す効率が向上し、農業生産力が高まった。 3. ナウマンゾウなどの大型の獣を捕らえるための、強力な打製石器の材料となった。 4. 土偶の表面を細かく削り出すための彫刻用具として、全国で広く普及した。